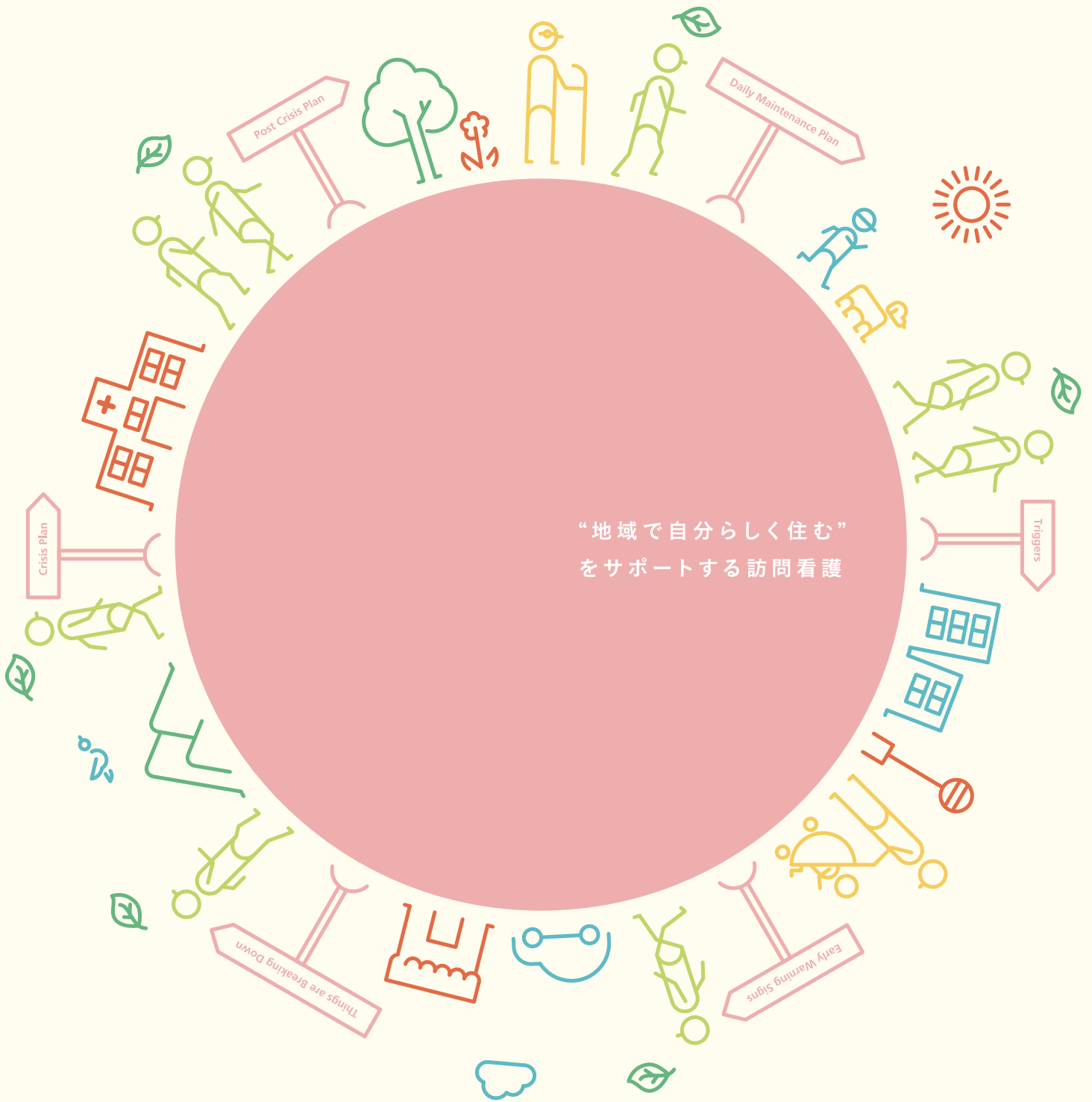


訪問看護ステーション

リーフ  
Reaf  
あまがさき



# 私たちReafは、訪問看護により精神的困難を抱えた人たちが自己決定力を高め、自ら生活していけるよう寄りそっていきます。

私たちは、訪問看護により、精神障がいをもつ人自身の「その人が自分らしく生きる」=「QOL(生活の質)を高める」ことを一緒に考え、その人自身が安心して地域で生活するために、自己決定する力を育てていきます。

そのために、薬などの既存の治療だけに頼らず対話の力で精神的困難を抱えていても誰でもリカバリーできるという考えのもと“Open Dialogue(オープンダイアログ)”という方法を取り入れながら、WRAP®という「自分が元気であるための自分取扱説明書」を一緒に作るサポートを行うことでその人が自分らしく生活する場を一緒に創造していきます。

## Reafの訪問看護 2つの特徴

Open Dialogue

対話の力の改善法

WRAP®

自分取り扱い説明書づくりのサポート

## Reafの訪問看護とは

精神科訪問介護は、精神障がい者の地域生活におけるサポートシステムの1つとして重要な役割を担っています。私たちは、精神障がいを持つ人のQOL(生活の質)を高めるためにできることを一緒に考え、地域で安心して生活を送るためのサポートをしています。地域は自分らしく生活ができる場であると考えます。私たちはその地域に出向くことでその人の暮らしに合った「あんなことがしたい」をサポートする体制を考えます。また、地域で生活する精神障がい者は、家族や周囲の人と影響しあいながら、生活しています。したがってその家族や周囲の人々、住んでいる地域や職場などの社会環境への働きかけも重要だと考えます。

私たちは、利用者の生活能力や病状の変化を継続的に観察しながら、その時と場に応じて援助のレベルを調整し、極端な憎悪を防ぐため予防的に介入しています。

これからもそのニーズに応じたトータルなアセスメントを行い、直接的な看護の提供から人間関係の調整、必要な社会資源・サービスの導入、家族への相談や支援などを行っていきます。

私たちは、生活の場で利用者に適する援助は何か、創造したサポートをしています。

Quality of life  
(生活の質)  
を高める

社会環境への  
働きかけ

援助レベルの  
調整

Reaf Staff

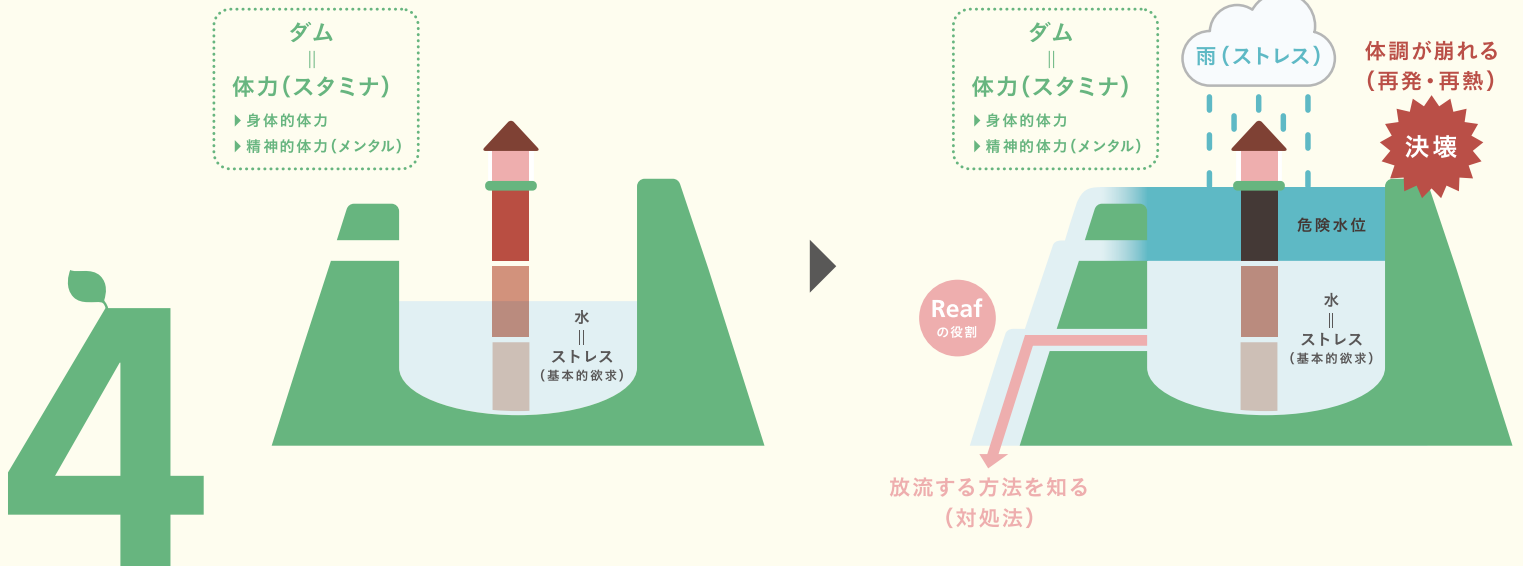
ご利用者

社会環境  
(地域・職場)

# 3

# 精神科訪問看護のイメージ

ダムを体力(スタミナ)に例えると、スタミナは「身体的体力」と「精神的体力(メンタル)」の2種類があります。



## Open Dialogue (開かれた対話) を取り入れた訪問看護

既存の治療だけに頼らない、信頼関係を大事にした中で本音で語り合える“開かれた対話”により、抱えている悩みや不安を解決できるような支援を取り組んでいます。それは、薬物だけに頼らず対話の力で統合失調症さえも改善する「オープンダイアログ」という方法で、フィンランドでは着実に効果を上げている公的医療の一つとして無料で提供されています。

病を抱えながらその症状に煩わされることなく社会生活を送るには、病理的分析だけでは不十分です。症状を他者と分かち合い、人間全体の事象として受け止められた時、本人の中に安心感が芽生えると考えます。大きな励ましであるオープンダイアログで希望を感じられる関係性を大切にしていきます。

またプロセスの中では、“聞く”ではない“聴く”を重要だと考えます。「聴」とい漢字には「十四」の「心」を持って「耳で聴く」という意味があると考えます。人は人によって傷つくときもありますが、私たちは“人によって癒される”ということを大切にされた関係性を築いていきます。

### Open Dialogue の「十四」の「心」を持って「耳で聴く」

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1 その人の身になって                    | 8 信じる                   |
| 2 同じ位置、同じ目線で                   | 9 共感を持って                |
| 3 目を見て                         | 10 受け入れる                |
| 4 誠実に真心を込めて                    | 11 尊敬の気持ちを持って           |
| 5 素直に真剣に                       | 12 いいところを取り上げて褒める       |
| 6 相手のことをより深く理解したい              | 13 その人のために自分は何ができるかを考える |
| 7 想像力を豊かに、その人の背後に隠されているものを創造する | 14 裏切らない                |

## WRAP® を取り入れた訪問看護

WRAP®とは、Wellness Recovery Action Planの頭文字をとってWRAP®です。

日本語に直訳すると「元気回復行動計画」ですが、最近では「自分取り扱い説明書(トリセツ)」とも言われています。

WRAP®は、毎日を元気で豊かに生きるため、気分を乱す状況に対し「気づく力」を高め、調子が乱れたときでも元気な状態を促す、自分で作る自分のための行動プランです。普段の生活を意識的に営むだけの、とてもシンプルなガイドです。

困難な感情や行動を取り除くやり方を学ぶことで、やりがいのある仕事や、たくさんの親しい友達に囲まれながら元気で幸せな生活を送ることを自分で創造して作っていきます。

自分のエキスパートを自分の考えで作り、利用者主体の関わりを大切にする訪問看護をしていきます。

### WRAP® の6つのプラン

- 1 日常生活管理
- 2 引き金
- 3 注意サイン
- 4 調子が悪くなってきた時
- 5 クライシス
- 6 クライシスを脱した時





訪問看護ステーション

リーフ  
**Reaf**  
あまがさき

### Reafでは月2回の研修制度を取り入れています

私たちは“開かれたステーション”を目指しております。地域の支援には地域の皆様や関係機関との連携や協働がとても重要だと考えております。たくさんの方々とのつながりを大切にし、医療（訪問看護）を必要とされている人もそうでない人も一緒に共に住みやすい社会の創生を作りたいと思っております。研修は、「疾患について」「地域連携とは」「支援のあり方」「薬物療法について」など様々な内容を毎月2〜3回行なっております。参加者は医療従事者だけでなく当事者や地域住民の方など誰でもOKで自由です。この機会を交流の場としての目的も兼ねており、地域の中で顔の見える環境づくりにも役立たせることで皆さんが安心した地域生活が送れる社会づくりを担っていきます。



### 会社概要

商号：株式会社MIG

商標名：訪問看護ステーション Reaf あまがさき

代表者：今井 利一

所在地：〒661-0012

兵庫県尼崎市南塚口町2-15-18-205

TEL. 06-7777-1219 FAX. 06-6421-7121

mail. info@reaf-kansai.com

設立日：平成30年6月1日

事業内容：訪問看護、看護予防等

関連会社：株式会社ラポート

介護保険事業所番号：2863-091-019